

校長室だより

No. 41

平成29年3月3日(金)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよし かざ  
加藤嘉一

### 第3回学校評議員会開催 ー分析と評価 ーそして小学生へのあたたかい思いー

今週28日(火)に、第3回学校評議員会を行いました。本年度の学校経営を総括し、次年度に向けての取り組みを図るためのものです。この会では、わたしから今年一年の学校経営評価と、1月末に実施した学校診断アンケートの結果・考察を説明させていただきました。(学校診断結果については、学校評議員の高評を載せ、来週に配付予定です)

主だった御高評は右のようなものです。学校評議員の皆さんのお話を聞いて、はっとさせられる瞬間が何度かありました。どの方の言葉にも説得力を感じたのは、地域で見られる具体的な子供の姿をとりあげながら、「〇〇はよくできている。」と評価される所。こちらも納得です。子供を本当によく見てくださっています。また、「△△は、もっと保護者とコミュニケーションをとれば理解されることではないか。」など冷静な考察もされ、今後の視点を与えてくださるものでした。



#### 本年度学校評議員

ありがとうございました。

- 社会教育委員長 萩原利元さん
- 総代会長 鈴木義則さん
- 民生委員会長 村松隆夫さん
- 主任児童委員代表 瀬戸美雪さん
- PTA会長 原直孝さん

#### 学校評議員会御高評

(抜粋)

- 子供の登下校やこどもの家での様子などを見ていて、上学年が下学年に対してやさしく面倒を見ている場面によく出会う。通学団登校での異学年での交流やペア学年の交流の場はとてもよい。
- 地域とのつながりを大切にしたい。地域の自慢(技能を持つ人や立派な企業など)になるものを知ることによって地域の愛着がわく。また、学校と子供、保護者、地域が一緒になって取り組む場面を作っていくとよい。
- 聞くより見る、見るよりやってみるといった体験は、理解が早い。体験する場をこれからも大切にしていきたい。
- 情報機器の発達による弊害が心配である。これからは、人の話を聞く力、直接友達とコミュニケーションする力、自分の考えを主張できる力が大切である。家庭も学校もお互いにこの力を伸ばすよう努力するとよい。

この校長室だよりについても、「こうしたおたよりで、学校のこと（意図）が分かる。開かれた学校づくりとはこういうものだ」と話されました。納得です。わたしたちは、ともすると授業参観など学校を開放し、学校を見てもらうことが「開かれた学校づくり」と意識しがちでした。

よいところはよいと認めていただくなかで、学校のあり方について御意見をいただくことができました。感謝するとともに努力せねばと襟をただしました。

### おやじの会に感謝

先週の日曜日、午前中に7名の父親の皆さんが来て学校の力になってくださいました。お話を聞いていると、お子さんが本校に10年以上通っているなど、長くかかわってくださる方が何人もいました。ありがたいことです。

今回も三ツ木町の山崎さんがまわりの方に声をかけてくださり、都合の合う方が参加してくださいました。今年は、なわとび用のジャンピングボード作りと体育館近くにある百葉箱の柵の補修を手伝ってくださいました。

力仕事や人数のいる仕事は、学校としてもその時間が取れなかったり、人手が足りなかったりします。こちらをお願いする作業は毎年違うのですが、その場で全て対応していってくださるので驚きます。また、作業も器用で早い。子供たちが喜びます。ありがとうございました。



### インフルエンザ感染による学級閉鎖実施

今週月曜日、4年1組のインフルエンザによる欠席者が多数となり、校医さんと相談のうえ、火曜日・水曜日まで学級閉鎖措置をとりました。（部活動も4年生は3月4日（土）までお休みです）4年1組は、先週金曜日の欠席者数に比べ、いっきに9人増えるといった状況でした。本校は、これまで大きな流行がなかったため、まだインフルエンザ感染の心配があります。学校でも予防に努めます。御家庭でも休みの日の過ごし方を含め予防に努め、「かかったかな？」と思われたら無理をせずに体を休めてください。

なお、学級閉鎖の学級は、家庭学習の指示を出しています。学習内容の履修に支障があると予想される場合、特別な時間割を計画させていただくことがあります。御承知ください。